

議 事 録

会議名		令和８年度第１回泉南市地域公共交通協議会
開催日時		令和８年６月２９日（月）午後２時２０分～午後４時３０分
開催場所		泉南市役所本館 大会議室
出席者	委 員	１４名（別紙出席者名簿のとおり）
	その他	欠席８名 （内３名が代理出席）
	事務局	７名 泉南市： 鵜戸、市川、長濱、中村、木村 八千代エンジニアリング株式会社： 三上、河田
会議次第		１ 開 会 ２ 議 題 (１) 基礎調査結果について (２) 泉南市地域公共交通計画（素案）について (３) さわやかバスのダイヤ改正に向けた検討方針 (４) 今後の進め方 (５) その他 ３ 閉 会

審 議 経 過

(1 / 5)

※審議の要旨は次のとおり（○は委員の発言、●は事務局の発言）

次第1 開 会

次第2 議 題

(1) 基礎調査結果について

●（参考資料1・2に基づき、事務局より資料説明）

○（副会長）参考資料1についてグラフがない箇所がある。確認いただきたい。

●（事務局）確認する。

○（A 委員）参考資料2に関して、地域主体での検討とあるが、地域だけで検討が進み後戻りできないような状況にならないよう、運輸局や警察など関係者とも相談し、しっかりと地域と関わりながら進めてほしい。

●（事務局）今後も意見交換を実施予定である。地域の感触を確認しながらしっかりと関係者と相談しながら進めていきたい。

○（会長）地域との意見交換に参加されたのはみなさま男性か。

●（事務局）全員男性の方である。

○（会長）男性の方は比較的運転すると答えてしまう方が多いので、高齢女性の方の意見も次回の意見交換の際に、聞けると良いのではないだろうか。

○（B 委員）朝の時間帯などでは、東小学校の生徒がバスを利用している。さわやかバスと和歌山バス那賀で運賃が違うなど難しいところはあると思うが、さわやかバスの山回りだけでなく、和歌山バス那賀のバスも東小学校に停車してもらえると嬉しい。夏の短縮授業の際には、地域の方の利用とかぶり、生徒がさわやかバスに乗れないとの話を聞いており、検討い

ただけるとありがたい。

○ (C 委員) 運賃の問題や岩出市側から運行しておりダイヤ調整の問題もある。住み分けや市の公共交通のあり方をどうするか考えていく中で、我々も市の公共交通の中でこういった役割を担うかの検討に参加できればと考えている。

○ (D 委員) 新聞報道で6月から軽タクシーの導入が拡大とあったが、どうなのか。

○ (A 委員) EV の軽タクシーは以前からあった。今回、過疎地等でガソリン車についても導入されることとなるが、大阪、京都、兵庫は導入しない方針である。

(2) 泉南市地域公共交通計画（素案）について

● (資料1・2に基づき、事務局より資料説明)

○ (E 委員) さわやかバスを利用されている方から話を聞くと、所要時間が1時間程度かかるが、他に移動手段がないため利用しているとの話を聞く。また、タクシーも呼んでも配車できないと言われることもある。新家地区でテスト実施された「チョイソコせんなん」が非常に良かったとの声が多く、先ほどの山手地区の話もそうだが、計画にある「複数交通手段の利便性向上」に乗り合いタクシーは含まれるか。

● (事務局) 「チョイソコせんなん」の実証運行をしたが、利用者は限定的で、1人1回の利用に1万円以上の経費がかかり、実施には難しい側面がある。タクシーも含めた公共交通が使いやすくなるよう、市としても事業者と協力して取り組みを進めたいと考えている。

○ (会長) タクシーの利便性、公共交通の利便性の向上について、これから具体的な内容を検討いただければと思う。

審 議 経 過

(3 / 5)

○（会長）まちづくりと観光施策の連携とあるが、現時点で具体的な考えはあるか。

●（事務局）現在検討中である。

○（B 委員）例えば、ロングパークとの連携を押し出したらどうか。イベントなどの際に、JR ユーザーをうまく取り込めると良いのではないだろうか。

○（会長）日常交通が充足しており、観光でも使えるというのが望ましい姿だが、地域によっては、日常の交通と観光交通が異なる場合もあるので、具体的な内容の検討を進めていてもらいたい。

○（副会長）今後の取り組みの中に「デマンド型乗合交通」とあるが、1 乗車 1～2 万円を要するデマンド型をあえて特出しして示す必要があるのか。

また、施策にあるバスの GTFS データの整備は、作成しようと思えば誰でもできるが、誰が主体的に作成するのか。その際に、作成を依頼する場合はお金がかかる話なので、その点も考慮しながら進めてほしい。

●（事務局）乗合交通をわかりやすくイメージするために「デマンド型」と記述した。デマンド型でも低コストのやり方があると思う。

また、GTFS データについては整備状況など確認し、整理する。

○（F 委員）大阪府でも市町村と連携して共創の取り組みを進めており、実証運行等でお手伝いや検討できることがあれば協力したい。

○（A 委員）完全キャッシュレス化などは省力化に繋がるが、誰もが使えるという観点とずれてしまう部分がある。例えば、利用者が明らかであるシャトルバスなどでは導入しやすいが、公共交通となるとハードルが高いかもしれない。注意しながら進めていただきたい。

審 議 経 過

(4 / 5)

○（G 委員代理）タクシー乗務員の確保について、2 種免許がなく採用してから取得される方が 7 ～ 8 割である。業界として PR がうまくないので、市と PR 等で連携できるとありがたい。また、免許返納者や高齢者へのタクシー券補助などを実施している自治体もあるので、検討してほしい。先ほど、タクシーが捕まらないとの話があったが、ドライバーは昨年に比べ増加しているところではあるが、ピーク時間や天候次第では需要と供給のミスマッチが発生する。例えば午前中と夕方がピークで雨の日や猛暑日は需要が過多となり、配車できない状況になっているかもしれないが、お時間をいただければ配車可能ということもあるので、ご利用を検討いただきたい。

●（事務局）タクシーは重要な公共交通の手段であり、外出支援のパッケージなど具体的な活用方策をタクシー事業者とともに検討していきたい。

○（会長）公共交通計画の中でタクシーもしっかりと位置付けて、使いやすくなる施策を検討いただきたい。資料にあるように、行きはさわやかバスで、帰りはタクシーといったような支援も具体的に検討していただければと思う。

（3）さわやかバスのダイヤ改正に向けた検討方針

●（資料 3 に基づき、事務局より資料説明）

●（事務局）さわやかバスのダイヤ改正に向けた検討方針の資料については、現時点では非公開としたい。

審 議 経 過

(5 / 5)

(4) 今後の進め方

- (資料 4 に基づき、事務局より資料説明)

(5) その他

- 市 HP にてさわやかバスの概要ページを作成したことを報告

次第 6 閉会